

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 9月 1日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 2 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	所内用圧縮空気系空気圧縮機(A)においては、廃止措置へ移行してから維持管理や自主管理の対象外として運転は行わず保管していた。しかしながら、3号機の所内用圧縮空気系空気圧縮機(B)の中間冷却器冷却水漏れによる停止と4号機所内用圧縮空気系空気圧縮機(A)の点検期限が9月末であることにより、2022年10月から3・4号機の所内用圧縮空気系空気圧縮機は全て運転できないことが認められたため、維持管理や自主管理の対象外としていた3号機所内用圧縮空気系空気圧縮機(A)を社内マニュアルの定めに従い使用の妥当性評価を行い2023年1月まで運転する。	GⅢ	8月30日
2	4号機	ストームドレン系受タンク(A)出口配管の溶接部(2箇所)において、水の漏れいた痕が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、床面への水の滴下は確認されなかった。 また、漏れいた痕が確認された溶接部には、シリコン自己融着テープによる処置を実施。	GⅢ	8月24日